



地域支え合い通信

No.1201

災害時 要援護者・支援者の皆さまへ

災害時に様々な困難が想定される「災害時要援護者」の安全を「地域ぐるみで支えていく取り組み」を、今年も引続き、皆様のご協力を得て進めてまいります。ご登録をいただいた皆様に、この取組みと動きを知っていただく一助に、この通信を発行することといたしました。

この通信で皆さまと、より良いコミュニケーションができることを望んでおりますので、ご意見・ご要望がございましたら、ぜひお寄せくださるようお願いいたします。

要援護者・支援者の新登録・更新を行いました。

災害時要援護者、支援者の第1次登録をお願いしてから1年が経過し、登録追加・内容の変更のご要望もあることから、新規登録と更新をお願いしました。

その結果、支援者については、18名の方に新規登録をいただき、合計205名となっています。

一方、要援護者は、15名の方に新規登録いただき、合計109名となっています。

支援者	人数
新規	18
辞退	5
登録合計	205
男	111
女	94
医師	8
看護師	2
保健師	1
介護支援専門員	3

要援護者	人数	
新規	15	
登録合計	109	
男	42	
女	67	
		%
高齢	63	58
障がい	16	15
独居	19	17
幼児	11	10

新規登録のご希望や転居等で登録内容に移動がある場合には、ぜひ班長経由、お知らせください。

もう一度、わが家の暮らしをチェックしましょう！



東日本大震災から大きな学びがありました。改めて思知らされたことが、災害には備えと絆。

発災時には特に地域の連帯と支え合いの大切さが証明されました。備えを『そのうちに』と後回しにしているませんか。

自分と自分の大切な家族を守るために、『もしも』の状況をイメージし、しっかり備えをしておきましょう。

必要なものは、人によって違います。特に自分の「いつもの1日」、朝起きてから、寝るまでを思い出し、自分にとって必要なものを準備しましょう。